

(仮称) 第3別館の概要

1 整備の背景・目的

本市（以下「市」という。）では、相模原市役所本庁舎に隣接する公用車北側駐車場の敷地内を整備用地として、多目的に利用可能なフリースペースやカフェ機能、全天候型遊び場、事務室・会議室等を備えた(仮称)第3別館の整備を進めています。本施設は、執務室の狭あい化と既存施設の老朽化等に対応するため、新たな市民サービス機能と執務機能を有する施設として計画しているものです。

2 施設の概要

名 称	(仮称)第3別館
所 在 地	相模原市中央区中央2－12(公用車北側駐車場)
用途地域	商業地域
敷地面積	約1,400㎡
建築面積	約 800㎡
延床面積	約3,200㎡
構造・規模	鉄骨造・地上4階建
運営開始	令和12年度を想定

※上記は現時点の想定であり、今後の設計等により変更となる場合があります。

位置図



※国土地理院の地図を加工して作成

3 各フロアのイメージ（想定）

フロア	イメージ図
1階	対象施設：多目的スペース、カフェ 対象施設以外：屋外駐車場（7台以上） 屋外駐輪場（80台以上） The diagram shows a rectangular floor plan. The top-left section is a blue box labeled 'ストックヤード' (Stock Yard). The top-right section is a blue box labeled '機械室 等' (Mechanical Room, etc.). The bottom-left section is a yellow box labeled 'EV' (EV charging stations) and 'エントランス' (Entrance). The bottom-right section is a large pink box labeled '多目的スペース' (Multi-purpose Space). A small blue box labeled 'カフェ' (Cafe) is located at the bottom center, adjacent to the Multi-purpose Space. Blue arrows indicate movement between the Stock Yard and Mechanical Room, between the two EV charging stations, and between the Entrance and the Multi-purpose Space.
2階	対象施設：全天候型遊び場 対象施設以外：事務室・会議室 The diagram shows a rectangular floor plan. The top section is a light green box labeled '事務室 会議室 等' (Office, Meeting Room, etc.). The bottom-left section is a yellow box labeled 'EV' (EV charging stations) and 'ホール' (Hall). The bottom-right section is a pink box labeled '全天候型遊び場' (All-weather Play Area). A small box labeled 'キッズトイレ' (Kid's Toilet) and '授乳室' (Nursing Room) is located between the Hall and the Play Area. Blue arrows indicate movement between the two EV charging stations and between the Hall and the Play Area.
3階 4階	対象施設以外：事務室・会議室 The diagram shows a rectangular floor plan. The top section is a light green box labeled '事務室 会議室 等' (Office, Meeting Room, etc.). The bottom-left section is a yellow box labeled 'EV' (EV charging stations) and 'ホール' (Hall). Blue arrows indicate movement between the two EV charging stations and between the Hall and the Office/Meeting Room area.

※本調査の対象は、1階の多目的スペース、カフェ及び2階の全天候型遊び場です。

4 対象施設の考え方

(1) 多目的スペース（1階）

- ・ アクセス性の高い1階に配置し、多世代交流、中高生の居場所、イベント、展示など多目的に利用可能なフリースペースとして整備します。
- ・ カフェと隣接させることで、利便性・滞在快適性の向上とにぎわいの相乗効果を図ります。

(2) カフェ（1階）

- ・ 多目的スペースに隣接して配置し、施設利用者の利便性・滞在の快適性を高めます。
- ・ ガス等火気使用は行わず、電気調理器による調理を前提とします。
- ・ 職員の利用を可能とします。

(3) 全天候型遊び場（2階）

- ・ 乳幼児から小学生を対象に、天候に左右されず身体を動かして遊べる遊具を備えた空間として整備します。
- ・ 年齢の違いにより遊び方が異なることを踏まえ、年齢でゾーニングできる面積（約200㎡を想定）を確保します。
- ・ 保護者が安心して見守ることができるよう、不特定多数が集まる多目的スペースと分離するとともに、災害時の避難の観点から地上になるべく近い2階に設置します。
- ・ 元気な「運動・声」による他室への影響を低減するため独立した空間とし、キッズトイレ・授乳室を併設します。

(4) その他

- ・ 対象施設の運営時間については、開庁日時（平日午前8時30分から午後5時15分まで）のみならず、休日や時間外においても運営を可能とします。
- ・ 本市は、全ての対象施設を一体で運営の対象とすることを想定していますが、個別に運営することも可能とします。

5 事業スケジュール（想定）

- ・ 供用開始を令和12年度当初とした想定で、基本・実施設計、建設工事、外構整備等を進める予定です。工事の進捗等により、工期が変更となる場合があります。

年度	主な内容
令和7年度～令和9年度	基本・実施設計
令和9年度～令和11年度	建設工事（令和11年度末 引渡しを想定）
令和12年度中	運営開始 ※カフェの厨房什器については、建設工事の中で設置することを想定しています。 ※全天候型遊び場については、引渡し後に遊具を設置することを想定しています。

6 運営方法の検討について

- ・ カフェ、多目的スペース及び全天候型遊び場の具体的な運営方法については、本サウディング型市場調査の実施結果等を踏まえ、今後検討を行います。

（参考）施設利用者の安全な動線確保イメージ

施設整備に併せ、「歩車分離」により施設利用者の動線の安全性を高めることとしています。歩きやすい舗装や歩道のカラー舗装による安全な経路への誘導、車両出入口の移設等による歩行者動線との交錯回避、横断歩道の設置等の対策を検討しています。



（注）本資料に記載の内容・数値・スケジュール等は、現時点における想定であり、今後変更となる場合があります。